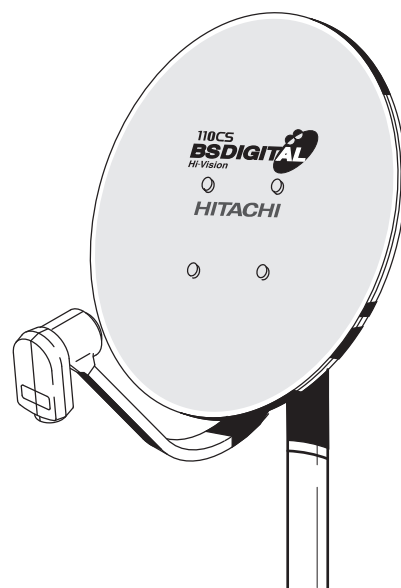


BS・110度CSデジタル放送(スカパー!)受信用アンテナ

BSアンテナ BCS-45R3-A

BSアンテナセット BCS-45RK3-A (ベランダ取付金具・ケーブル付)

目次	ページ
◆ 安全上のご注意	1
◆ 各部のなまえ	2
◆ 取付ける前に	2
◆ 設置例	3
◆ アンテナの組み立ておよびベランダ金具への設置のしかた	3
1. ベランダ金具をベランダに取付けます。	3
2. 同軸ケーブルの接続と防滴処理をします。	3
3. 支持アームをアンテナ本体に取付けます。	4
4. 仰角の設定をします。	4
5. ベランダ金具にアンテナを取付けます。	4
6. 同軸ケーブルの配線と防滴処理をします。	4
7. 同軸ケーブル先端にF形接栓を取付けます。	5
◆ 方向設定の作業手順	5
1. BSデジタルチューナー内臓テレビに アンテナからの同軸ケーブルを接続します。	5
2. アンテナ電源の設定と、アンテナレベル画面を表示します。	5
3. 方位角を調整します。	6
4. 微調整をします。	6
◆ 仕様	7
◆ 保証とアフターサービス	7
◆ お客様ご相談窓口	7



◆ 特長

■ 低位相雑音コンバータ搭載により、BSデジタルハイビジョン放送と110度CSデジタル放送(スカパー!)が受信可能です。

BS・CS共用コンバータ搭載により110度CSデジタル放送(スカパー!)に対応しています。

※スカパー!プレミアムサービスは受信できません。

※110度CSデジタル放送(スカパー!)受信には専用の受信機器が必要です。

※2012年10月より、「スカパー!HD」は「スカパー!プレミアムサービス」に、「スカパー!e2」は「スカパー!」に名称変更しています。

■ ワンタッチセッティングで簡単取付け

アンテナ本体(マスト取付金具付)とBS・CS共用コンバータ付き支持アームの2ピース構成。支持アームをマスト取付金具に取付けるだけで組み立ては完了です。あとは、マストに差し込むだけで、簡単に取付けが行えます。

■ BCS-45RK3-Aは、ベランダ取付金具付でとても便利

ベランダ取付金具・ケーブル等取付部材がセットになっていますので、別にお買い求めることなくとても便利です。(ベランダ取付金具はベランダ格子(手すり子)厚み55mmまで取付可能)

お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。


なお、お読みになった後は、取扱説明書・保証書とも大切に保存してください。


- このアンテナを使用できるのは日本国内のみで、放送方式が異なる外国ではご使用できません。

(This antenna can not be used in any-other countries as it is designed for use in Japan only.)


◆安全上のご注意 《必ずお読みください。》


絵表示について：取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 △記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。

 ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠警告

● 雷が鳴り出したら、ケーブル及び接続コード等には絶対に触れないでください。感電の原因となります。



● 強風時の作業は危険なため、行わないでください。落ちたり、転倒したりして、ケガの原因となります。



● ベランダ等へ設置する場合は、ベランダ強度に十分注意し、落下の危険のない所を選んでください。また、突起物によるケガや、幼児が登り転落の原因となることがありますので、取付場所に注意してください。



● 中・高層住宅での使用は強風時破壊し、落下の危険があるため、特に地上高14m以上の建物に取付ける場合は販売店もしくは工事店におまかせください。



● 高所（家屋の屋根の上・2階以上の壁面等）、足場の悪い場所への取付けは、落ちたりして、ケガの原因となりますので、販売店もしくは工事店におまかせください。



● 落下防止に万全の注意と予防策を!!
ベランダや手すりへの取付けのさい、アンテナや工具を落下させケガの原因となることがありますのでそのような危険のある所では、落下防止のため「ひも」などで固定物と結ぶなどの万全の予防策を行ってください。



⚠注意

● BS・CS共用コンバータは、防水機構になっていますので、絶対に分解しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● BSチューナとケーブルの接続・取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。故障の原因となることがあります。



● ケガの原因となることがありますので、カッターナイフ等の使用については十分にご注意ください。また、ケーブルの加工中など芯線が指等に突き刺さらないようにご注意ください。



● コンバータへのケーブルのテーピングは設置後では手が届かず落下の原因となることがありますので、アンテナの方向調整を行う前に安全な場所で行ってください。また、テーピングする前にケーブルの長さがチューナまで接続するのに十分な長さであるかを確認してください。

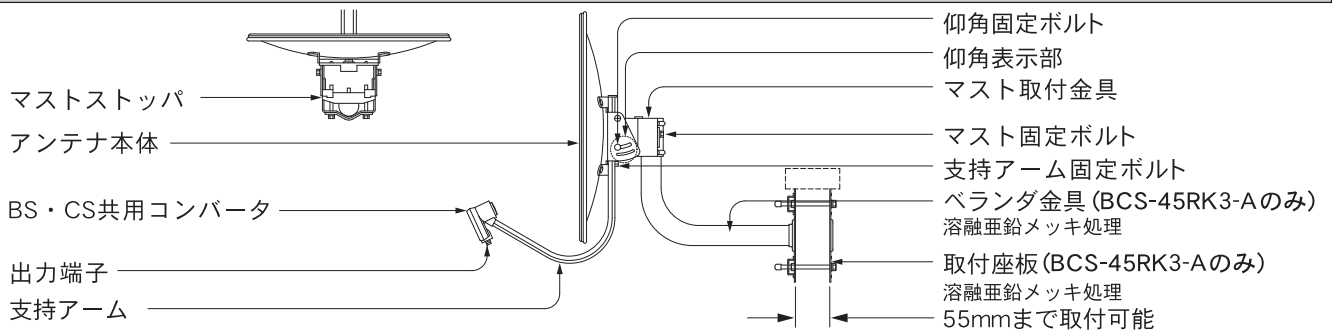


● BS・CS共用コンバータのお手入れのさい、溶剤（ベンジンやシンナー等）や洗剤などは使用しないでください。プラスチックカバーが変質し故障の原因となります。



◆各部のなまえ

ベランダ金具・取付座板には溶融亜鉛メッキを使用しています。
耐食性をよくする処理で外観上、凹凸・変色等がありますが不良ではありません。



■箱の中身を確認してください。

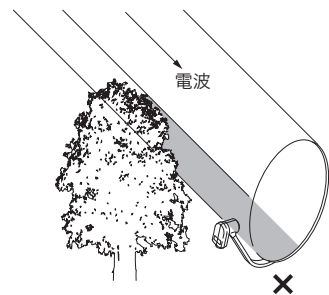
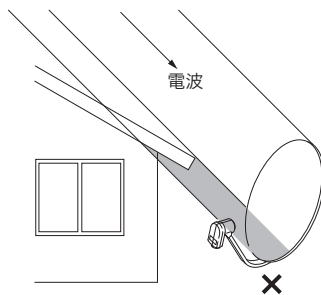
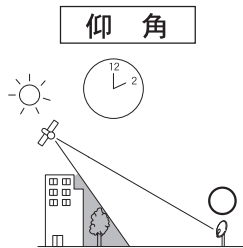
BCS-45R3-A, BCS-45RK3-A 共通	BCS-45RK3-A	BCS-45R3-A
アンテナ本体 (取付金具付) 1台 BS・CS共用コンバータ付 支持アーム 1台	ベランダ金具 各1個 取付座板 各1個 F形接栓 (FP-4) 1個 結束バンド 3本 (15.2cm) 防滴キャップ 1個 組立用スパナ 1本	F形接栓 (FP-5) 1個 結束バンド 1本 (15.2cm) 防滴キャップ 1個
	ベランダ金具取付用ネジ 1式 六角ボルト 4本 (スプリングワッシャー・平ワッシャー付) キャップ 4個 同軸ケーブル (片側4C用F型接栓取付) 1本 (15m)	

◆取付ける前に

●設置場所をよく選ぶ

ちょっとひとこと

・軒下・ベランダ取付けのときは軒先や屋根・樹木が伸びたとき陰にならない場所を選びます。



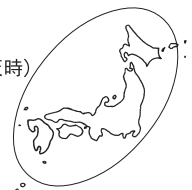
設置場所の選びかた

- 衛星の方向は、おおよそ午後2時の太陽の方向(南西)です。
- アンテナの前に、ビル、樹木や金網などの障害物(離れた場所にある送電線や鉄塔も受信レベルに大きく影響します)のないところを選びます。
- 風当たりの少ない低い所で受信状態の良い場所を選びます。
- アンテナと接続相手のチューナ・テレビ・ビデオまでの同軸ケーブル配線方法と同軸ケーブルの長さを確認します。接続する同軸ケーブルが極端に長い場合、機器が正常に動作しなくなる場合があります。(目安30m)

衛星放送をより良く受信していただくため、下記の点にご注意ください。

- 放送衛星からの電波は全国一円をカバーしますが、その強さは各地で異なります。受信エリアは右図を参照ください。

受信エリアの目安(晴天時)
[BSを受信する場合]



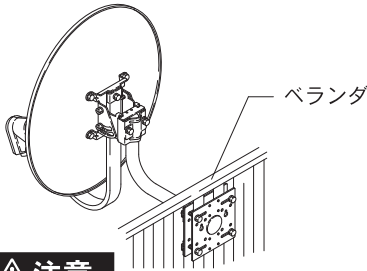
- 衛星放送は、雷雨や豪雨のように強い雨が降ったり雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり一時的にノイズが出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがありますが、一時的なものですので回復を待ってご使用ください。

- 近くに強い電波を出す無線局等がある場合受信不調になることがあります。

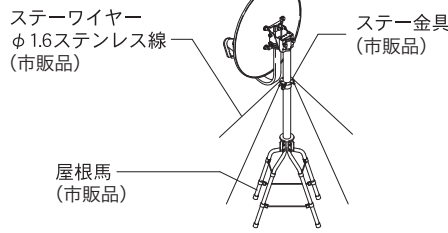
◆設置例

詳しくは、次ページ以後を良くお読みになって正しくお使いください。

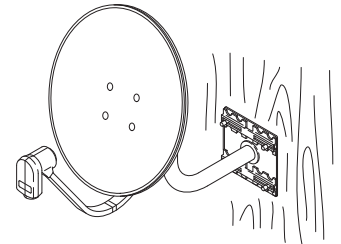
■ベランダへの設置例



■屋根馬への設置例



■壁面への設置例



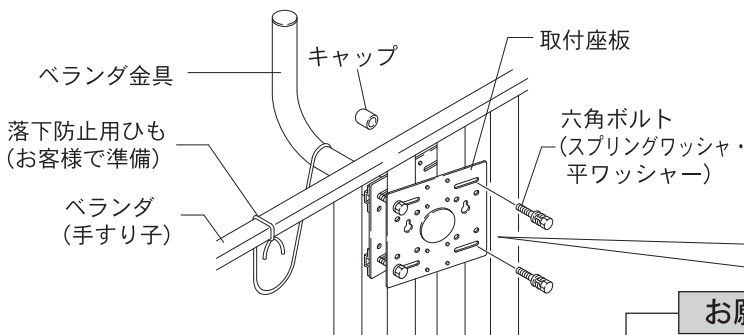
▲注意

- ・ベランダ等へ設置する場合は、幼児が登り転落することのないよう、金具取付け場所等に注意してください。落下の危険のない所、ベランダ強度の十分な所を選んでください。
- ・海岸地帯では潮風が直接アンテナに当たらない場所を選んで取付けてください。著しい発錆の原因となります。
- ・高所(家屋の屋根の上・2階の壁面等)足場の悪い場所への取付けは、販売店もしくは工事店におまかせください。



◆アンテナの組み立ておよびベランダ金具への設置のしかた

1 ベランダ金具をベランダ(手すり)に取付けます。(BCS-45RK3-Aには付属)



▲注意

- ・取付けにあたっては、アンテナや工具を落下させるとケガの原因となることがありますので、必ずアンテナや工具は「ひも」でベランダ等と結んで落下防止を行ってください。



お願い

- ・ベランダ取付時にはベランダ取付金具を手すりに押しつけて取付けると、水平およびアンテナの強度が保てます。

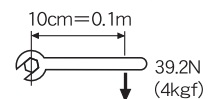
お願い

- ・ベランダ金具は垂直に取付けてください。垂直に取付けされないと十分な性能が発揮できない場合があります。
- ・必ず南西の見通しのきく、ベランダに取付けてください。方向の違うベランダでは衛星の電波は受信できません。

ちょっとひとこと

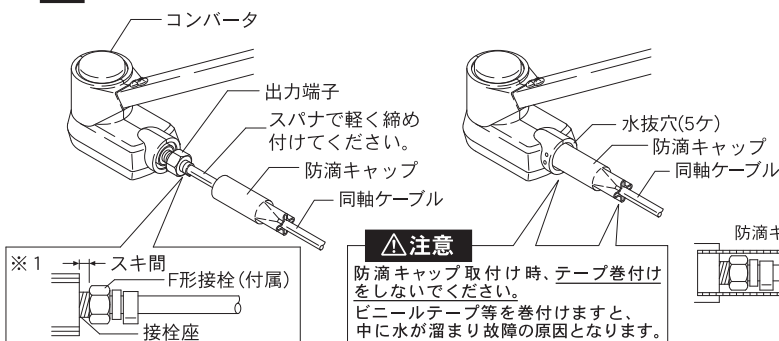
締付トルクについて

- ・ネジを締める力を表わし、かける力に柄の長さに乗じた値が締付トルクとなります。例えば下図の場合は、長さ0.1mのところに39.2N(4kgf)力を加えて締めることにより $39.2\text{N}(4\text{kgf}) \times 0.1\text{m} = 3.92\text{N}\cdot\text{m}(40\text{kgf}\cdot\text{cm})$ の締付トルクとなります。



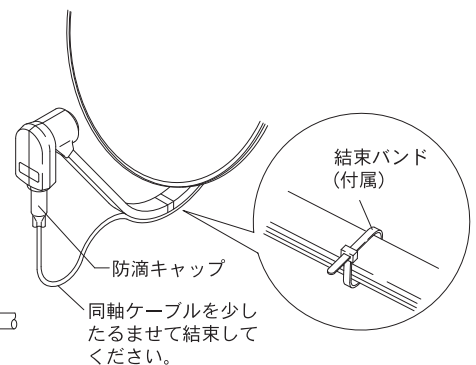
- ベランダ取付金具と取付座板でベランダの格子を挟み込んでください。図のように取付け後、ボルト4本をしっかりと締め込みます。(適正締付トルクは4.9~5.88N・m(50~60kgf・cm)です。)

2 同軸ケーブルの接続と防滴処理をします。



▲注意

- ・防滴キャップ取付け時、テープ巻付けをしないでください。ビニールテープ等を巻付けますと、中に水が溜まり故障の原因となります。



- 同軸ケーブルをコンバータ出力端子に接続します。

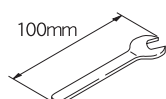
- ・同軸ケーブルの芯線が曲がり、へこんだりしないよう注意して接続してください。
- ・F形接栓の締付けは手で締め付けた後スパナで軽く締め付けてください。(適正締付トルクは0.98~1.96N・m(10~20kgf・cm)です。)

- 防滴キャップをコンバータに差し込みます。(ビニールテープ巻付けしないでください。)

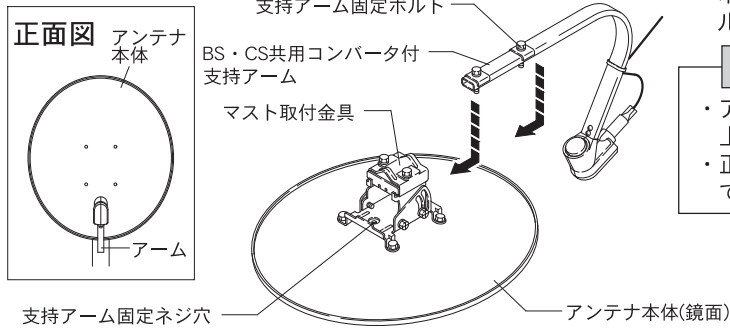
- 同軸ケーブルを結束バンドで固定します。

お願い

- ※1・F形接栓を締め付けても少しスキ間ができますが、むりに締め込まないでください。
- ・スパナは100mm以下の小さなスパナをご使用ください。
- ・BCS-45RK3-Aに付属しておりますスパナはM6六角ボルト用です。F形接栓の締付けにはご使用できません。



3 支持アームをアンテナ本体に取付けます。

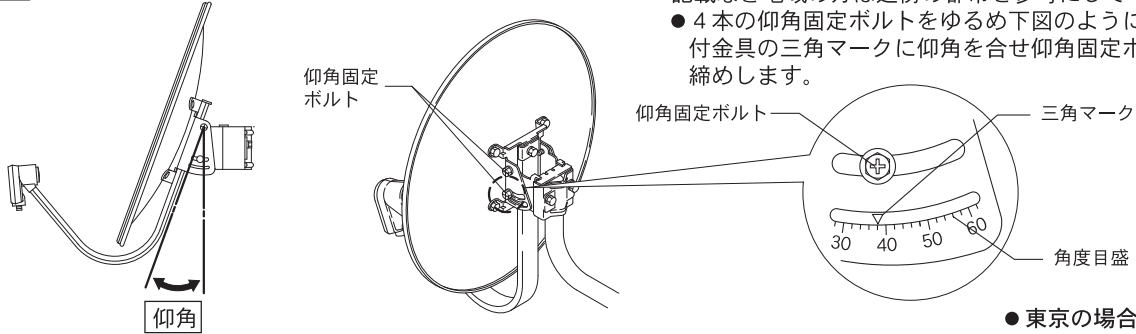


① アンテナ本体裏のマスト取付金具に支持アーム固定ボルト2本をしっかりと締め付けます。(適正締付トルクは2.94~3.92N・m (30~40kgf・cm)です。)

お願い

- ・アンテナ本体表面を傷つけないよう、ダンボールの上などで作業を行ってください。
- ・正面図のように、アームが下側にくるように固定してください。

4 仰角の設定をします。



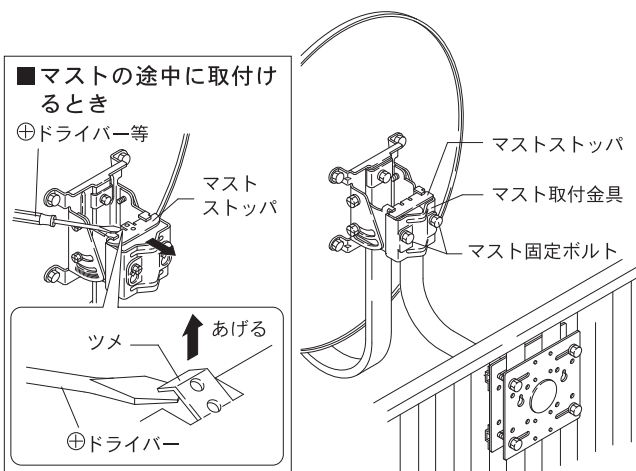
●東京の場合 38.1°

- ① 下の表で取付け場所の仰角を求めます。記載なき地域の方は近隣の都市を参考にしてください。
- 4本の仰角固定ボルトをゆるめ下図のようにマスト取付金具の三角マークに仰角を合せ仰角固定ボルトを仮締めします。

●下表は、電波の到来方向(仰角・方位角)の目安で、記載のない地区では近隣の都市での角度値を参考にしてください。

都市名	仰角(度)	方位角(度)	都市名	仰角(度)	方位角(度)	都市名	仰角(度)	方位角(度)	都市名	仰角(度)	方位角(度)	都市名	仰角(度)	方位角(度)	都市名	仰角(度)	方位角(度)
釧路	29.6	233	山形	35.6	231	千葉	37.8	231	静岡	39.4	230	岡山	42.3	225	松山	43.7	223
旭川	30.1	231	仙台	35.3	231	東京	38.1	231	名古屋	40.1	228	神戸	41.6	226	高知	43.5	224
根室	28.6	234	福島	35.9	231	横浜	38.3	231	岐阜	40.1	228	鳥取	41.4	225	福岡	45.2	220
札幌	31.2	230	新潟	36.6	229	富山	38.7	228	大津	40.9	227	広島	43.4	223	佐賀	45.6	219
函館	32.5	230	前橋	37.9	230	金沢	39.1	227	大阪	41.4	226	松江	42.1	223	大分	44.9	222
青森	33.3	230	宇都宮	37.2	231	福井	39.8	227	京都	40.9	227	山口	44.4	221	熊本	45.8	221
秋田	34.5	230	水戸	37.0	231	甲府	38.7	230	奈良	41.2	227	徳島	42.5	226	鹿児島	47.0	221
盛岡	34.0	231	さいたま	37.9	231	長野	38.2	229	和歌山	42.0	226	高松	42.6	225	沖縄	53.6	221

5 ベランダ金具にアンテナを取付けます。



- ① マスト取付金具のマスト固定ボルト2本をマストに入る位置までゆるめてからマストに差し込みます。

⚠注意

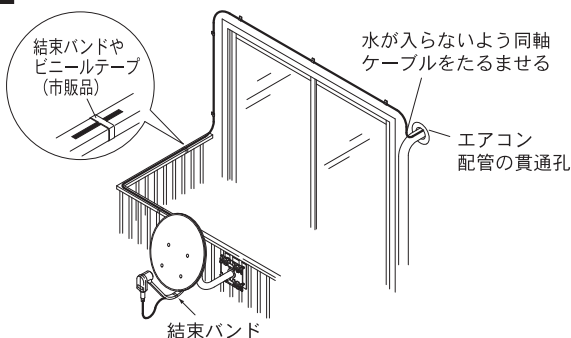
- ・マストストップはマストを強く当てると、外れたり壊れたりしますのでご注意ください。
- ・マストストップを外す場合は、ツメを指で上げるとケガの原因となることがありますので、必ずドライバー等工具をご使用ください。

- ② アンテナをおおよそ西に向け、マスト固定ボルト2本を仮締めします。

■マストの途中に取付けるとき

- ・取付金具のマストストップを外してください。マストストップはツメをドライバー等を使って上にあげて、矢印方向に引くと外れます。
- ・アンテナをおおよそ、西に向け、アンテナがずり落ちないように十分注意してマスト固定ボルト2本を仮締めします。

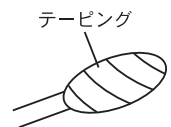
6 同軸ケーブルの配線と防滴処理をします。



- ① エアコン配管の貫通孔などに同軸ケーブルを通します。通した後は、水が入らないように貫通孔をふさいでください。

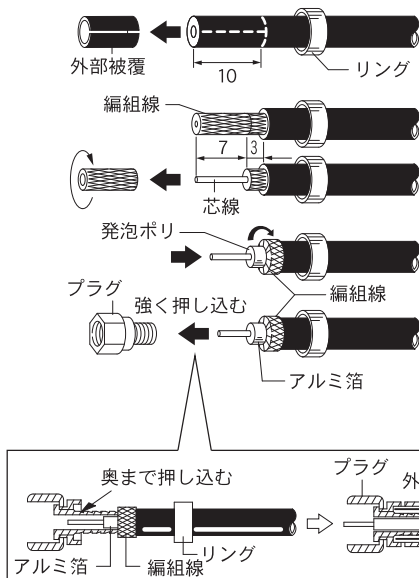
ちょっとひとこと

- ・通す方の同軸ケーブルにゴミが入らないようテーピングしてから孔に通してください。
- ・同軸ケーブルは直角に曲げると利得の減衰につながりますので丸みをつけて配線してください。



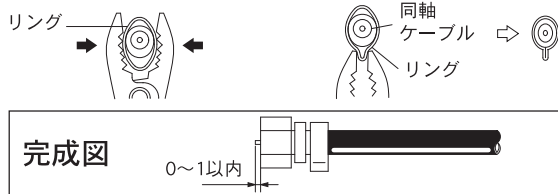
- ② 同軸ケーブルをベランダ笠木(手すり)、窓枠にそわせてビニールテープ、結束バンド、ケーブルクリップ等(市販品)を利用して配線してください。

7 同軸ケーブル先端にF形接栓を取付けます。単位 (mm)



- ① リングを同軸ケーブルに入れ、カッターで点線の外周とタテに切り込みを入れ、外部被覆 (ビニールシース) を取り除く。
- ② 編組線、アルミ箔と発泡ポリに切り込みを入れる。(芯線にキズを付けないように注意)
- ③ 編組線、アルミ箔と発泡ポリを回しながら抜き取る。
- ④ 編組線を折り返す。(編組線が芯線と接触しないように注意)
- ⑤ プラグをアルミ箔と編組線の上に奥まで差し込み、下図のようにペンチ等でリングの中央部を軽くつぶし、最後に一方をつぶす。

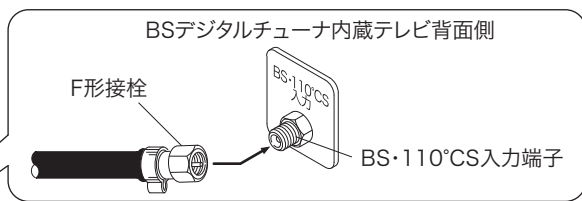
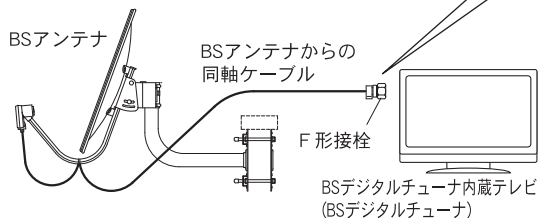
注意
7Cのケーブルは、使用しないでください。(5Cまでのケーブルを使用してください。)



◆方向設定の作業手順

- 方向設定の作業手順はBSデジタルチューナ又はBSデジタルチューナ内蔵テレビでの例です。(必ずテレビ・チューナに付属の取扱説明書をご覧ください。)
アンテナの方向調整はテレビやモニタの画面を見ながら調整してください。

- 1 BSデジタルチューナ内蔵テレビ (BSデジタルチューナ) にアンテナからの同軸ケーブルを接続します。



注意

- ・BS受信機 (BS内蔵テレビ、ビデオ、チューナ等) と同軸ケーブルの接続・取外しは必ずBS受信機のアンテナ電源 (DC 15V) を「OFF」にして行い接続が終わってからアンテナ電源を「ON」にしてください。故障の原因となったり、ショートの原因となります。
- ・BS受信機側の同軸ケーブル取付及び操作はその受信機の取扱説明書をご覧ください。

- 2 アンテナ電源の設定と、アンテナレベル画面を表示します。

- ① 同軸ケーブルを接続した後、デジタルテレビやデジタルチューナのアンテナ電源の設定を「ON」にします。
 - ・アンテナに電源供給 (15V) されていない場合、アンテナが作動しないため、アンテナレベルは「0」のままになります。
 - ・画面の表示方法および設定方法は、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

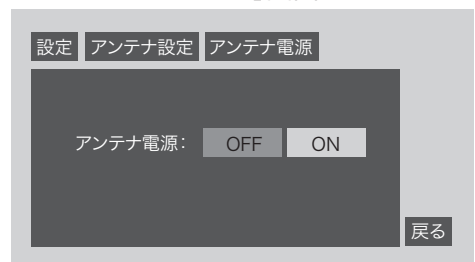
- ② 「アンテナレベル」画面を表示します。
 - ・画面の表示方法は、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっとひとこと

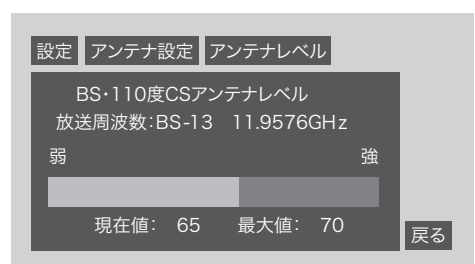
方向調整のまえに

- ・衛星からの電波を受信してから映像が出るまで、少し時間差があります。3秒程度待ってから動かしてください。映像は徐々に映り出します。突然現れたように映ります。
- ・電波の受信範囲は非常に狭く、約2度です。TVの画面を見ながらゆっくりと調整してください。方位角、仰角を微調整して最良の位置に固定してください。

「アンテナ電源の設定」画面の例

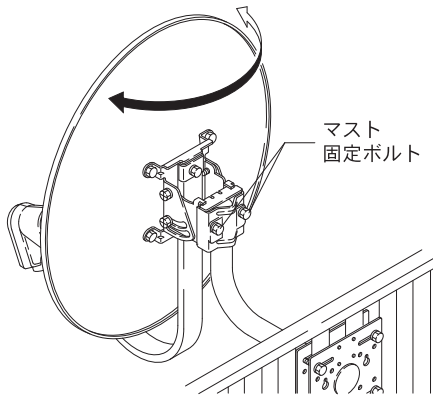


「アンテナレベル」画面の例



※画面表示は一例です。使用するデジタルテレビまたはデジタルチューナで異なります。

3 方位角を調整します。



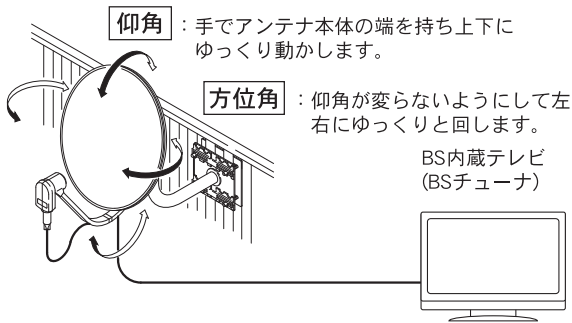
- 1 マスト固定ボルトを少しゆるめ手でアンテナ本体を持ち西から南側へ（又は南から西）ゆっくりと回し、テレビ画像が最良またはアンテナ受信レベルが最大となる位置で方向を決定し、マスト固定ボルト2本を仮締めします。

ちょっとひとこと

画像やアンテナ受信レベルが全く出ないとき

- ・ベランダ金具が垂直になっていないか、または仰角・方位角が合っていないことが考えられますので、ベランダ金具の垂直と取付金具の仰角および方位角を4ページの表で確認してください。
- ・F形接栓のところで編組線が芯線と接触したり、芯線が折れ曲ったりしていないか確認してください。
- ・同軸ケーブル接続時、DC 15Vがショートし保護回路が働き電流が流れなくなることがあります。その場合は受信機の取扱説明書をご覧になり再びDC 15Vの供給を行ってください。

4 微調整します。



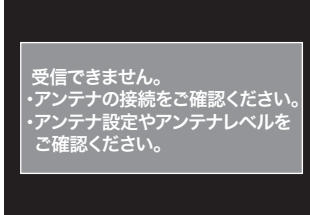

- 1 仰角固定ボルトをゆるめアンテナを上下にゆっくり動かしてテレビ画像が最良またはアンテナ受信レベルが最大となる位置を決め、仰角がずれないように仰角固定ボルトをスパナで十分締め付けます。(仰角固定ボルトの適正締め付トルクは4.9~5.88N・m (50~60kgf・cm)です。)
- 2 3と同じ要領で方位角を再調整し、最良の位置がずれないようにボルトをスパナで十分締め付けます。(適正締め付トルクは4.9~5.88N・m (50~60kgf・cm)です。)
- 3 最後に仰角固定ボルトとマスト固定ボルトが締まっているか確認します。

⚠注意

- ・アンテナ、ボルト等がはずれて落下し、ケガの原因となることがありますので各ボルトはスパナでしっかりと締め付けてください。



以下の症状が出る場合、処置にしたがってください。

症状	原因	処置
映像が出ない  ※メッセージは一例です。詳しい内容は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。	ケーブルの接続方法・F形接栓の取付け方法が間違っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルが、コンバータの出力端子、および、デジタルテレビまたはデジタルチューナのBS・110°CS入力端子に正しく接続されているか確認してください。 ・ケーブルを切断して使用した場合、F形接栓が正しくケーブルに取付けられているか確認してください。
	信号が来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルを追加した場合、ケーブルが断線またはショートしていないか確認してください。 ・F形接栓の芯線が短かったり、芯線に編組やアルミ箔が触れたりしていないか確認してください。
	アンテナへの電源が供給されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルテレビまたはデジタルチューナからの、アンテナ電源の設定を「ON」にしてください。
	受信ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・再度、アンテナの方向を調整してください。
映像にブロック状のノイズが出ている。 	受信レベルが低い。	<ul style="list-style-type: none"> ・症状が消えるように、アンテナの方向を調節してください。 ・アンテナの設置場所を変えて、衛星からの電波が受信できるようにしてください。

【映らない場合の再確認事項】

- ・アンテナに電源(DC15V)を供給する必要があります。BSデジタルチューナやBSデジタルチューナ内蔵TV等から電源(DC15V)を送ることで動作しますのでBSデジタルチューナやBSデジタルチューナ内蔵TV等の取扱説明書にて設定方法をご確認ください。
- ・TVのBS受信レベル数値は徐々に上昇するのではなく、突然大きくなります。一呼吸おいてからアンテナの向きを微調整してください。
- ・BSアンテナとTVを直接繋いで受信確認を行ってください。(アンテナは正常であることの確認)その後、他の機器を接続してください。
- ・設置場所や条件によっては、専門的な知識や計測機器等が必要となる場合があります。その場合は、お近くの販売店に設置をご依頼ください。

仕様

型名	BCS-45R3-A	BCS-45RK3-A
受信周波数	BS帯域：11.7～12.2GHz	CS帯域：12.2～12.75GHz
コンバータ出力周波数	BS帯域：1,032～1,522MHz	CS帯域：1,522～2,072MHz
偏波面	右旋円偏波	
アンテナ利得	BS帯域：33.8dBi	CS帯域：34.2dBi
コンバータ利得	54dB	
性能指数（G/T）	BS帯域：14.1dB/K	CS帯域：14.5dB/K
電力半値幅	3.6度	
コンバータ雑音指数	0.6dB	
コンバータ位相雑音	-70dBc/Hz (1kHzオフセット)	
コンバータ用電源	DC+ 13.2～16.5V	
消費電力	1.3W	
コンバータ出カインピーダンス	75Ω (F形レセプタクル)	
方向調整角度	仰角：28～54度※2 方位角：360度	仰角：28～54度 方位角：±90度
風面積	0.2m ²	
耐風速	受信可能 (利得低下が1dB以下)：20m/s以下 再調整復元可能：40m/s以下 非破壊：60m/s以下	
寸法	大きさ(最大) 高さ約57.0cm 幅約46.3cm 奥行約50.5cm	大きさ(最大) 高さ約57.0cm 幅約46.3cm 奥行約69.7cm
質量	1.6kg	3.3kg

※2 マスト中間取付の場合は仰角28～50度

保証とアフターサービス(必ずご覧ください)

修理を依頼されるときは(出張修理) **保証期間…お買い上げ日から1年です。**

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容

品名	BSアンテナ
型名	BCS-45R3-A BCS-45RK3-A
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有償で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名

電話 ()

ご購入年月日

年 月 日

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間)9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談窓口へ

TEL 0120-8802-28
FAX 03-3260-9739

(受付時間)9:00～17:30(月～金)
携帯電話、PHSからもご利用できます。
土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は
休ませていただきます。

- 「出張修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターにて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼頂いた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 (アクロポリス東京)

TEL. 03-3260-9611

FAX. 03-3260-9739

M300366847-13.04